

平素より、ご高配を賜り深く御礼申し上げます。  
ぜひ、関連コーナーにてご展開いただきますようご案内申し上げます。

FAX: 092-726-9886

# 生きた言語とは何か

9月  
下旬刊

## 《思考停止への警鐘》

大嶋仁

詩人ランボーと、  
作家・志賀直哉の  
言語感覚に注目!!

### 思考停止という病に(注)!!

言語が私たちの現実感覚から大きく  
離れ、多用されるとき、私たちの思考  
は麻痺する――。

人工知能(AI)は人類の持つ複雑な知能に比  
べて明らかに劣ります。しかし、そう思っていな  
い人は意外なほどに多く、この劣性知能への依  
存度は急速に増していきます。しまいには人類  
の知能低下は歴然としたものとなります。そう  
なれば人類は人類でなくなり、他の動物ほどの  
身体的知能をもたないがゆえに、自滅すること  
になるでしょう。(本書「はじめに」から)

四六判・230頁

定価 1900円 +税

ISBN 978-4-86329-273-4  
C 0095

### 目次から

- 第一章 数学の言語とランボー
- 1 数の概念
  - 2 無理数の概念
  - 3 ゼロの概念
  - 4 複素数の概念
  - 5 複素数の運命
  - 6 イデオロギーの脅威
  - 7 ランボー
- 第二章 生命ある記号
- 1 はじめに記号ありき
  - 2 ベルクソン
  - 3 イメージと記号
  - 4 デュルケーム
  - 5 レヴィ＝ストロース
  - 6 トーテミズム記号学
  - 7 詩歌を記号学で解く
  - 8 科学を記号学で解く
- 第三章 死をもたらす言語
- 1 言語の恐ろしい力
  - 2 科学文明の言語
  - 3 現代世界の言語
  - 4 私たちに何ができるか
  - 5 文学は人類を救えるか?
- 第四章 志賀直哉と言語
- 1 意識とはなにか
  - 2 言語と意識
  - 3 志賀直哉の文法論
  - 4 志賀文学のスタンス
  - 5 「城の崎にて」
  - 6 志賀直哉と日本語
  - 7 国語問題
- あとがき

《著者の横顔》 大嶋仁(おおしま・ひとし)

1948年神奈川県鎌倉市生まれ。1975年東京大学文学部卒、在学中にフランス政府給費留学生としてフランスに二年滞在。1980年同大学院比較文学比較文化博士課程単位取得満期退学。静岡大学、バルセロナ、リマ、ブエノスアイレス、パリで教えた後、1995年福岡大学人文学部教授。2016年退職、名誉教授。佐賀県唐津市で「からつ塾」の運営にも当たる。著書は『精神分析の都』(作品社)『福沢諭吉のすゝめ』(新潮選書)『ユダヤ人の思考法』(ちくま新書)『正宗白鳥何云つてやがるんだ』(ミネルヴァ書房)『メタファー思考は科学の母』(弦書房)『科学と詩の架橋』(石風社)など。

【FAX: 092-726-9886】

書店・帖合 ご担当者様	流通センター 取扱品	冊	生きた言語とは何か 《思考停止への警鐘》	大嶋仁 定価 1900円+税 ISBN 978-4-86329-273-4
		冊	メタファー思考は科学の母	大嶋仁 定価 1900円+税 ISBN 978-4-86329-157-7
		冊	近代をどう超えるか 渡辺京二対談集	【対談者】榊原英資、中野三敏、大嶋仁、有馬学 岩岡中正、武田修志、森崎茂 定価 1800円+税 ISBN 978-4-902116-03-8
	ご注文日 様 [ / ]		弦書房 —Genshobo—	〒810-0041 福岡市中央区大名2-2-43 ELK大名ビル301 TEL:092-726-9885 FAX:092-726-9886 URL http://genshobo.com/ e-mail books@genshobo.com